

一生勉強、一生青春。高校を卒業してからが、勉強の本番。一生涯、自分から進んで主体的に学ぼう

開倫塾

塾長 林明夫

1. はじめに

- (1) 本日3月8日（水）は、福島市にある有朋学園、有朋高等学院の卒業式が、午前10時から行われます。有朋高等学院は、中学校や高校で不登校であった生徒に高校の全課程を修了させるための、1学年30から40名、2クラスの小さな高等学校です。
- (2) 要請があり、10年前より理事長を務め、毎年、理事長講演をさせて頂いております。学校法人の理事長は、学校経営の法律上の最高責任者であるためか、毎年の入学式と卒業式で祝辞を述べる慣習になっております。
- (3) 本日の卒業式では、次のような祝辞を述べ、卒業生・保護者・地域社会・教職員の皆様に祝意をお伝えする予定です。

2. 祝辞

- (1) 「一生勉強、一生青春」。私はこのことばが大好きですので、卒業生の皆様にも、卒業のお祝いのごことばとしてお贈りいたします。
- (2) 「一生勉強、一生青春」。このことばは、栃木県足利市の、私が生まれ育った家の前を散歩していた書家の相田みつを先生のものです。
- (3) これから皆様は高校を卒業され、大学に進学し、また、社会に出てご活躍なさいますが、勉強は高校までではありません。高校を卒業した後、大学に入学してから、また、社会に出てからが、「勉強の本番」です。

3. (1) そこで、是非覚えておいて頂きたいことが一つあります。

- (2) それは、ここ、有朋高等学院で3年間学んだことは、大学ですべて役に立つということです。また、社会に出て働いたり、社会的な活動をしたるときに、すべて役に立つということです。
- (3) 高等学校で学んだことで、大学や社会で役に立たないことは一つもありません。豊かな人生を送る上でも、高校で学んだことはすべて役に立ちます。一生涯役に立つのが、高校で学んだすべての教育内容です。

4. (1) そこで大切なことは、高校の教科書や教材、ノートは絶対に処分しないで、すべてきちんと保存すること。一生涯かけて保存し、いつでも見られる状態にしておくことです。

- (2) 大学に入学し、また、仕事や社会的な活動をしながら、よくわからないことがあったら、たえず、高校の教科書や教材、ノートを読み返し、主体的に学ぶことが大切です。
- (3) 折に触れ、それまでの生き方や人生を振り返り、これからの生き方を考える時に一番役に立つのが、高校での勉強です。そのような時には、是非、高校の教科書や教材、授業中のノートを取り出し、教室の先生の授業やお友達の姿を思い出してくださいね。

ご卒業おめでとうございます。